

みんなの全断連短信(第178号)

平成 23 年 4 月 1 日創刊
令和 8 年 1 月 1 日発行

(発行責任者) 林 藤孝 (発行者) 公益社団法人全日本断酒連盟 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-2-2 ☎03-3863-1600



謹賀新年 本年も宜しくお願い申し上げます



アルコール健康障害対策基本法

～第 36 回アルコール健康障害対策関係者会議～

11 月 17 日、日本航空会館で、オンライン併用にて開催。
教育分野での取り組み状況と第Ⅲ期アルコール健康障害対策
推進基本計画の改定素案について検討された。

- ① 文部科学省からの報告
 - ・「学校教育」「家庭啓発」「依存症予防」を柱に未成年
飲酒防止と依存症理解の促進。
 - ・飲酒ガイドラインを整備し、社会全体に正しい知識と
価値観の周知を図る。
- ② 第Ⅲ期アルコール健康障害対策推進計画の重点課題
 - ・「発生予防」「回復支援」「当事者・家族支援」を中心
に地域・教育機関・医療体制の連携強化。
 - ・文部省・厚労省・こども家庭庁が連携し、医療体制の
充実と家族の健康・健康状況の調査の実施。
- ③ 新たに「アルコール健康障害の当事者及びその家
族への支援」を追加。
 - ・こども基本法に基づき、地方公共団体の児童福祉部門
等との連携体制構築の推進を図る。

～アルコール問題議員連盟総会開催～

- 11 月 26 日、衆議院第二会館面談室にて開催。
中谷元衆院議員(会長)、あべ俊子衆院議員、厚労省、
国税庁出席。福山哲郎参院議員の司会により、議連か
ら関係省庁、アル法ネットへのヒアリングと質疑が行われた。
- ・アルコール依存症に係る診療報酬の検討状況
 - ・期待される治療アプリの効果と実際の現場の状況
 - ・第 3 期アルコール健康障害対策推進室基本計画について
「当事者、その家族、子どもへの支援」を重点課題
に追加し、ヤングケア問題について対応していく。
 - ・医療機関との関係性を築きながら、自助グループとし
てなすべき役割についての意見交換。
- (以上詳細は「かがり火」3月号に掲載)

断酒宣言の日全国一斉啓発活動報告

1. アルコール関連問題啓発全国一斉街頭キャンペーン

11 月 10 日～16 日の啓発週間を中心に、全国 40 都道
府県で、全断連主催、厚労省、警察庁他後援により実施。
「アルコール依存症の回復を目指して」と「飲酒運転
根絶」をテーマに、40 地域で、道府県警、警察署、交
通安全協会等の参加協力を得て、約 175,000 枚のチラ
シとティッシュを配布した。

2. アルコール関連問題啓発フォーラム(セミナー)

11 月 1 日～11 月 30 日の期間中に以下の 10 地域で、
全断連及び当該地域断酒会主催、地域自治体等共催により
啓発フォーラム(セミナー)を実施した。

水戸市、宇都宮市、伊奈町・川口市・蕨市(埼玉)、
名古屋市、高島市(滋賀県)、神戸市、三木町(香川県)、
宮崎市 (詳細は「かがり火」3月号に掲載)

「躍進する全断連 2026」配布

1 月中旬に県連事務局宛て発送します(配布部数：各
都道府県連所属会員数×130%)。

B5 版 本文 48 ページ。全国断酒会名簿最新版付

全断連主催行事報告

① 第 27 回近畿ブロック断酒学校(大阪)

11 月 14～16 日、大阪府立少年自然の家にて、(一社)
大阪府断酒会主管により開催。

- ・「家族会のあり方」についての勉強会
講演：佐谷誠司氏(新阿武山病院 診療部長)
- ・各種分科会

医療 5、作業所 4、職員 4、断酒会 152(家族 26)、
総計 165 名

都道府県連主催行事報告

① 岐阜県断酒連合会一泊研修会

9 月 27,28 日、国立乗鞍青少年交流の家において開催。
運営に関しては県外参加者の協力も得ながら、依存症
治療拠点機関看護師の熱い体験談も含め、笑顔に溢れる
研修会となった。参加者 68 名

② 第 30 回兵庫県断酒会一泊研修会

9 月 27,28 日、神戸市北区しあわせの村で開催された。
分科会も行われ、じっくりと体験談を語る・聴く、の
充実した内容となった。設置した「酒害相談コーナー」
には両日で 7 名の相談があった。

行政 3、医療 17、福祉 2、一般 2、断酒会 133
総計 157 名

③ 釧路断酒会 55 周年記念大会

10 月 5 日、釧路市中央コミュニティセンター(コアかが
やき)において開催。

- ・講演：横田那國勝氏(全断連参与)「例会のあり方」
4 名の体験談に感動と共感の記念大会となった。
- 行政 6、医療 3、会員家族 20、総計 29 名

④ 奈良県断酒連合会家族一日研修会

11 月 3 日、大和郡山市民交流館にて開催。
酒害者本人も参加可能とし、家族の悩みや家族に
与えてきた酒害を振り返ることが出来た。
医療・行政・福祉 2、一般 15、朋友断酒会 37、
奈良県断酒連合会家族会 17、本人 13、総計 84 名。

⑤ 四国ブロックアメリシトの集い

11 月 24 日、サンポート高松にて開催。

仲間との体験談の共有を通じ朋友の絆を再認識した。
午後は家族の体験談を聴き、反省の機会とし、医療・行政関係者からコメントをいただいた。参加者 84 名

ブロック協議会報告

① 中部ブロック協議会

- 11 月 15 日 オンラインにより開催。10 名参加
(山梨 1、長野 1、岐阜 1、愛知 2、静岡 5)
1. 中部ブロック行事の報告、検討事項
- ・第 62 回全国（愛知）大会実施報告
諸経費を徹底削減し全断連補助金も使用せず。
総括して今後の全国大会のあり方の指針にするべき。
 - ・中部ブロック秋季研修会報告 参加者 51 名
 - ・中部ブロック春季研修会 R8.3/7,8（山梨）
富士緑の休暇村 断酒会規範の研修
 - ・中部ブロック（長野）大会 R8.4/12 塩尻レザンホール
参加費 1500 円（弁当なし）11：30～16：00 で検討中
2. 全断連報告
- ・全断連会費の改定（年 3600 円→6000 円）について
(愛知) 意見まとまらず。6 地域断酒会（会員数 90 名）が
全断連脱退の意向を示している。
(長野・山梨) 改定やむなし
(静岡) 改定やむなしだが、今後の全断連の存立意義を十分に検討してほしい。
3. 会費改定に関連し、ブロック長から全断連に下記 3 点
について要望書を提出
- ・愛知大会の結果を総括し、今後の全国大会のあり方を理事
会で検討すること。
 - ・全断連のあり方を討議し、会員の不信感を払拭すること
 - ・SBIRTS の効果について情報開示すること。

2025 年度精神保健福祉全国大会開催

- 12 月 7 日、第 72 回精神保健福祉全国大会（厚労省・日精連主催）が鳥取県米子公会堂で開催された。
- ・表彰：断酒会から、全断連推薦による厚労大臣表彰で
団体 1 件・個人 1 名、日精連会長表彰で団体 2 件・個人
5 名が受賞。（本紙「第 174 号」で詳細既報）
 - ・また、地域自治体の推薦により以下の個人が受賞され
た（敬称略）。
(厚生労働大臣表彰)
甲田 実（三原断酒友の会会長）
的場 宏好（奈良県断酒連合会）

市民公開セミナー開催状況

☆本年度も厚生労働省の後援を得て、アルコール関連問題啓発週間に以下の通り啓発セミナーを開催した。

① 埼玉県断酒新生会アルコール関連問題啓発セミナー

- 11 月 9 日、埼玉県民活動総合センターにて開催。
- ・講演：今成知美氏（＜特非＞ASK 代表）
「アルコール依存症」一家族の回復と、幸せになるカギは？」
 - ・家族の体験談
行政 1、医療 1、一般 3、断酒会 61、総計 66 名

② 愛知県断酒連合会アルコール関連問題啓発セミナー

- 11 月 9 日、名古屋市中電ホールで、愛知県委託事業として開催。
- ・講演：桐山啓一郎氏（名古屋市立大学准教授）

直江文子氏（彩人材教育センター）

- ・体験談：（本人・家族各 1 名）
行政・医療 8、一般 13、断酒会 108 総計 128 名

③ 栃木県断酒ホトギス会市民公開セミナー

- 11 月 16 日、栃木福祉プラザにおいて栃木県警本部の協力を得て開催。
- ・テーマ：「アルコールと飲酒運転」飲酒と死亡事故の関係
「アルコールの作用と影響について」少量アルコールは健康に良いというのは間違いと指摘、
 - ・体験談：2 名 参加者 88 名

④ 千葉県断酒連合会市民公開セミナー

- 11 月 21 日、千葉市共催により、千葉市こころの健康センターにて開催。
- ・講演：工藤智子氏（船橋北病院・精神保健福祉士）
「治療をすすめる」
 - ・シンポジウム：「自助グループへつなげる・つながる意義や工夫について」
 - ・工藤智子氏 長谷康一氏（千葉ダルク）
 - ・旬氏（AA 千葉） 林朝子氏（菜の花会）
 - ・藏田亜希子氏（千葉県地域生活定着支援センター）
 - ・塩川裕昭氏（千葉県断酒連合会理事長）
- 参加者 55 名

⑤ 埼玉県断酒新生会市民公開セミナーin わらび

- 11 月 26 日、蕨市立文化ホールくるで、全断連埼玉南部断酒新生会と蕨市保健センター主催で開催。
- ・テーマ：「子供の立場から見た依存症」
 - ・講演：菊池真理子氏（漫画家）
- 行政・医療 9、一般 16、断酒会 24、総計 49 名

⑥ 兵庫県断酒会神戸市民酒害セミナー

- 11 月 29 日、神戸市新長田ピフレホールで神戸市断酒協議会・神戸市共催、兵庫県断酒会後援により開催。
- ・講演：中元康雄氏（医療法人社団光風会幸地クリニック）
「アルコール依存症からのリカバリーとは」
～「止める」から「止め続ける」道のり～
- 行政 7、医療 4、一般 28、断酒会 76 総計 115 名

⑦ 埼玉県断酒新生会第 12 回市民公開セミナーin 川口

- 11 月 30 日、青木会館で全断連埼玉南部新生会と川口市保健所共催で開催。
- ・講演：倉持譲氏（さくらの木クリニック秋葉原 院長）
「ときどきお酒を飲みすぎてしまうあなたへ」
- 行政・医療 13、一般 20、断酒会 43 総計 76 名

⑧ 茨城県断酒つくばね会市民公開セミナー

- 11 月 30 日、茨城県精神保健福祉センターで茨城県中央保健所共催により開催。
- ・講演：稲葉 崇氏（笠間市立病院 副病院長）
「あなたの飲酒習慣を見直すヒント～飲酒量低減外来について～」断酒または飲酒の二択ではなく中間の飲酒量低減外来の必要性を指摘（外来患者の 93.3%が依存症）
- 医療・行政関係 7、一般 7、断酒会 34、総計 48 名

☆厚生労働省後援による啓発週間の啓発セミナー次号に続く

全断連主催行事予定-3月まで

- 2/6～8 大雪断酒学校（旭川）
3/7,8 中部ブロック春季研修会（静岡）
3/21 全断連定例理事会